

子どもとネットの「いま」～低年齢化の波の中で～

兵庫県立大学環境人間学部 竹内和雄

1. 子どもとネットの「いま」

- 1) 急激な低年齢化
- 2) 実例から
 - ① ネットいじめ
 - ② ネット炎上問題
 - ③ 「出会い」問題
 - ④ 課金問題

2. 神戸市の「いま」

3. これまでの対策

- 1) 神戸市は最先端
- 2) インターネット安全教室
- 3) 新しい取り組み
 - ① 室内小学校
 - ② 真陽小学校

4. これからの方向性

- 1) 最先端の教育の継続
 - ① 安全教室の継続
 - ② 実態調査（アンケート）
 - ・ 子ども対象（神戸市全域）
 - ・ 母親対象（育児スマホ）
 - ③ 神戸市スマホサミット
 - 子どもたち自身が考えて、ルールづくり
 - ④ 教材作り（教員）
 - 教員が制作チーム
- 2) 神戸市の産官学連携で下支え
 - ① 教材開発 神戸市教委
 - ② 事例提供 兵庫県警 テレビ局 新聞等
 - ③ 映像技術 携帯事業者
 - ④ 全体方針 県立大（竹内、学生）

